

低線量胸部CT検査のご案内

厚生労働省の「人口動態統計の概況」によると、2019年1年間の死因別死亡総数のうち悪性新生物(がん)は27%と第1位でした。

そのうち、肺がんは男性の死亡原因の1位、女性の死亡原因の2位と頻度が高い疾患です。

【死亡原因】



- 1位 肺がん
- 2位 胃がん
- 3位 大腸がん



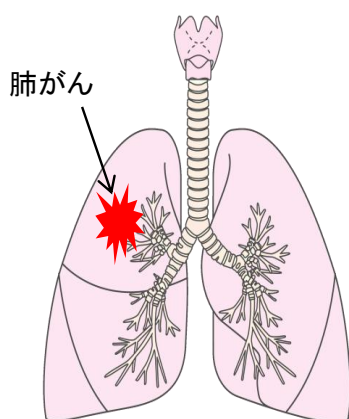
- 1位 大腸がん
- 2位 肺がん
- 3位 膵臓がん

タバコを吸わない方にもリスクはあります

肺がんは喫煙(過去の喫煙も含みます)が最大の原因ですが、近年では喫煙されない方が肺がんになる確率も増えてきています。

また、早期で発見された場合(ステージⅠ)の5年生存率は、約80%と報告されています。

*5年生存率: がんと診断されてから5年後に生存している割合



早期発見が大切です。

この機会に、胸部CT検診を
ぜひお受け下さい。



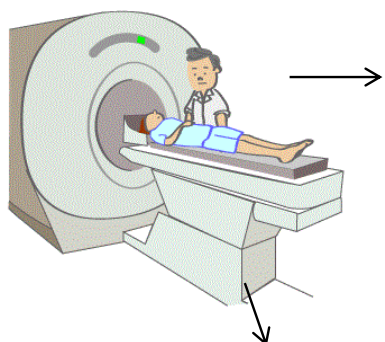
当院では、被ばく量の少ない**低線量CT検査**をオプション検査として実施しています。裏面に、その特色をお示ししています。ご覧ください。

⇒裏面に続く

低線量胸部CT検査の特色

最新鋭マルチスライスCT検査で早期発見を目指す

当院ではマルチスライスCTを導入しています。
検診で行う胸部X線検査で見つかる肺がんの大きさは、一般的に約2cm以上と言われていたますが、マルチスライスCTでは1cm以下のがんを発見することも可能です。



低線量CT検査で被ばく量を少なく

低線量CT検査では放射線量を通常診療の胸部CT検査の約1/7に抑えて、なおかつ検査後に画質を通常のCT検査に近付ける処理を行います。

短時間検査でストレスを少なく

検査台に仰向けになり、合図に合わせて約10秒間息を止めていただくだけで、検査が終了します。

検査前の、注射・薬による処置は必要ありません。

低線量CT検査のほかに、今回肺がんオプションとして

肺腫瘍マーカー(3種)

喀痰検査

もご用意しました。

詳細は当院健診センターにお問い合わせください。